

## フューエルポンプモジュール脱着作業要領

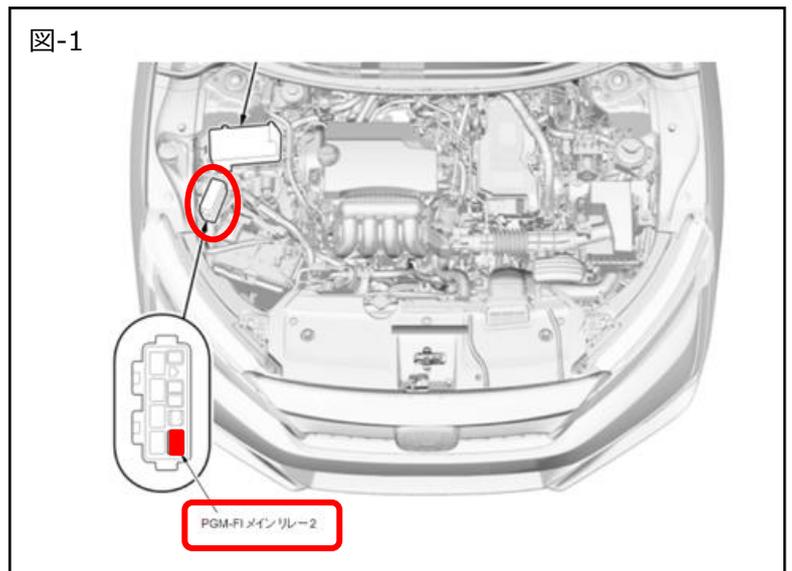
機種名	型式
CLARITY PHEV	ZC5

### ■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
ZC5 全車共通	06170-TRW-305

1. 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
2. POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
3. PGM-FIメインリレー2を取り外す。

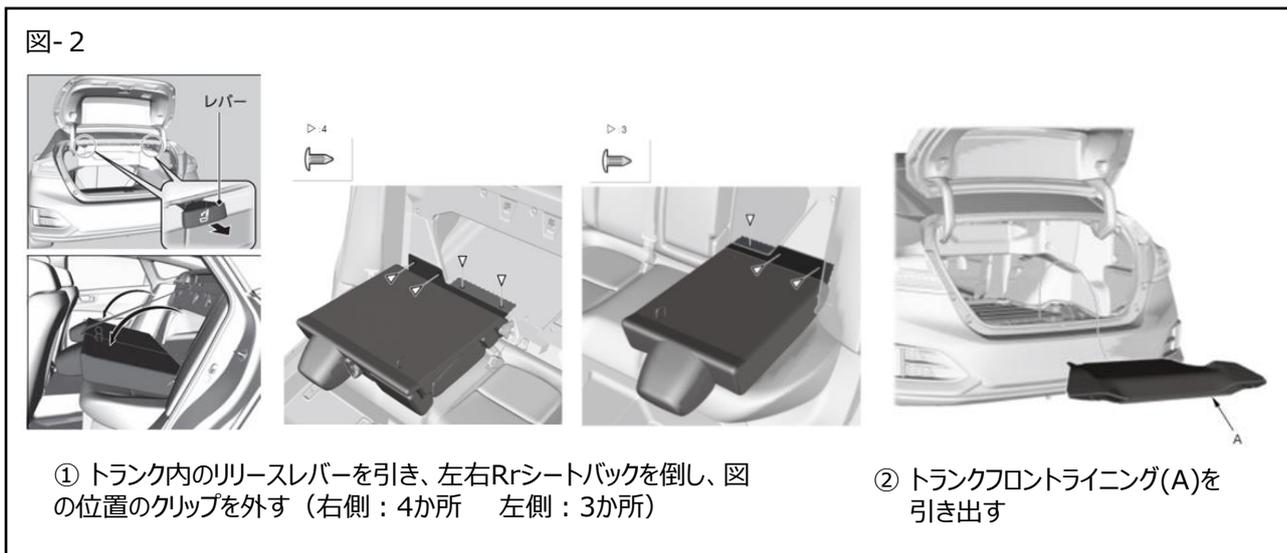
図-1参照



4. メンテナンスモードでエンジンを始動し、残存燃圧を抜く。
  - ① ブレーキペダルを踏まない状態で、POWERスイッチを一度押し、ONモードにする。
  - ② Pレンジでアクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
  - ③ ブレーキペダルを踏み、Nレンジにする。
  - ④ アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
  - ⑤ ブレーキペダルを踏み、Pレンジにする。
  - ⑥ アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
  - ⑦ ブレーキペダルを踏み、POWERスイッチを押すと、メンテナンスモードでエンジンが始動する。
  - ⑧ ガス欠でエンストするまでアイドルで放置し、エンストしたらPOWERスイッチをOFFモードにする。
5. 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。

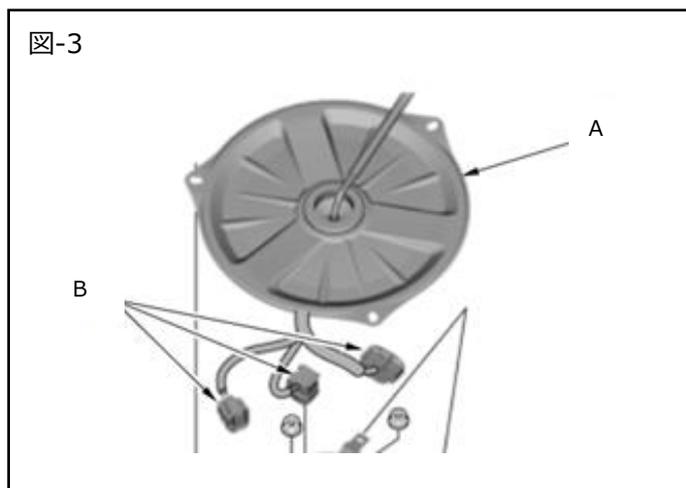
6. トランクフロントライニングを取り外す。

図-2参照



7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプモジュールからカプラ(B)を外す。

図-3参照

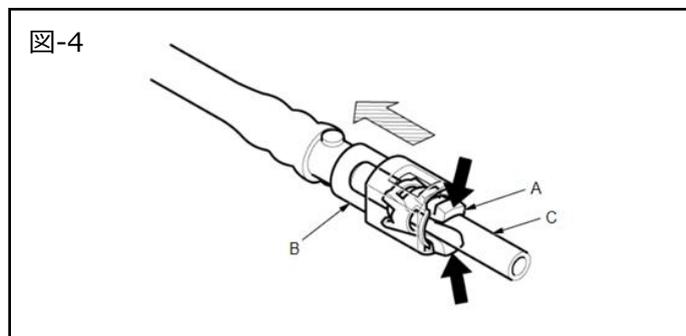


8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺にウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を指でつまみながらチューブを外す。

図-4参照

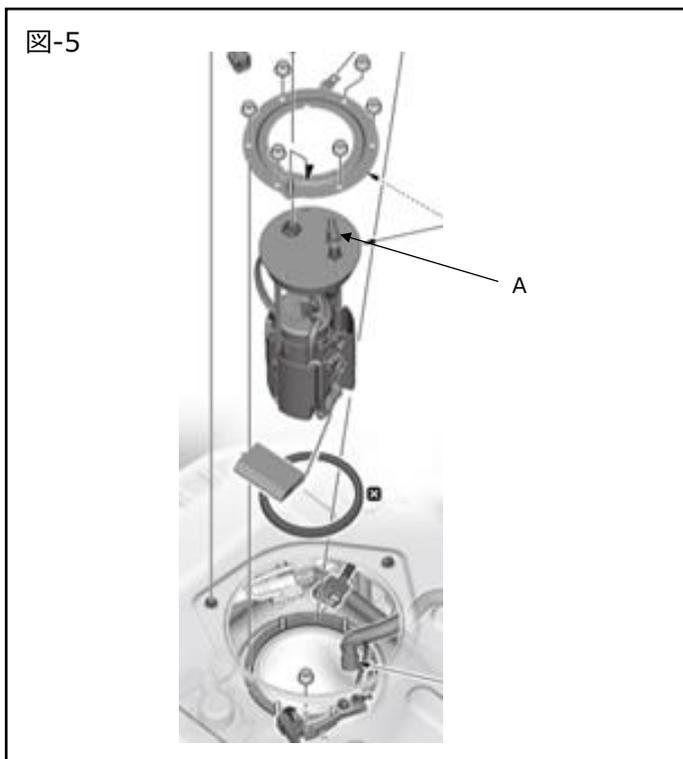
※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換



10. フューエルポンプモジュール取付ナット6個を緩め、フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。

図-5参照

- ※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと
- ※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること
- ※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る（再使用防止）
- ※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(A)を外し、新品のリテーナを組付ける。



11. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

- ※ 参照するポンプ交換作業要領 → A

- ※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。図-6参照

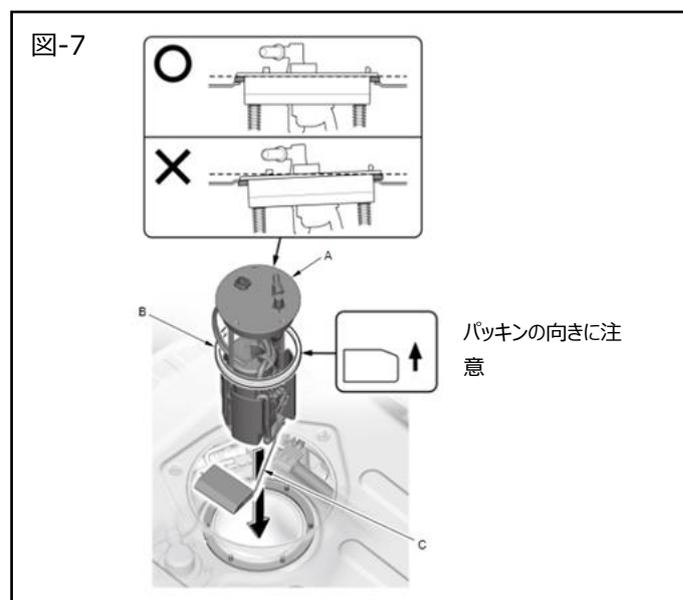
- ※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。



12. フューエルポンプモジュールのフランジ部に新品のパッキンを組付け、タンク内に挿入する。

図-7参照

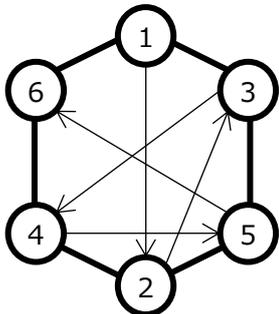
- ※ パッキンの取付向きに注意すること。
- ※ フューエルポンプモジュール挿入後、パッキンがずれていないことを確認すること。
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。



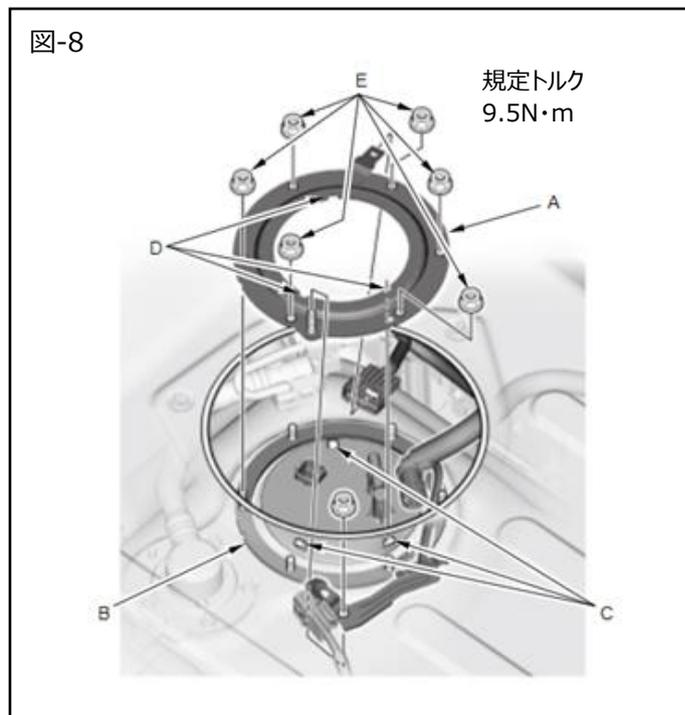
13. フューエルポンプモジュールの突起部(C)とセットプレート(A)の切り欠き部(D)を合わせ、セットプレートをタンク(B)に密着するまで押し付けながら、取付ナット(E)を仮締めする。

図-8参照

14. 取付ナットを対角に規定トルクで締めつける。



※ 既定トルク : 9.5N・m



15. クイックコネクタとカプラを接続する。

※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込みその後、軽い力で引っ張り、抜けないことを確認すること。

16. バッテリのマイナス端子を接続する。

17. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。

18. 17.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

19. 整備主任者に中間検査を依頼する。

20. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
- ② クイックコネクタ、カプラ、バッテリー端子の接続を確認する。
- ③ エンジンを開始し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

21. 手順20.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを組付け、トランクフロントライニングを取り付ける。

22. フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。

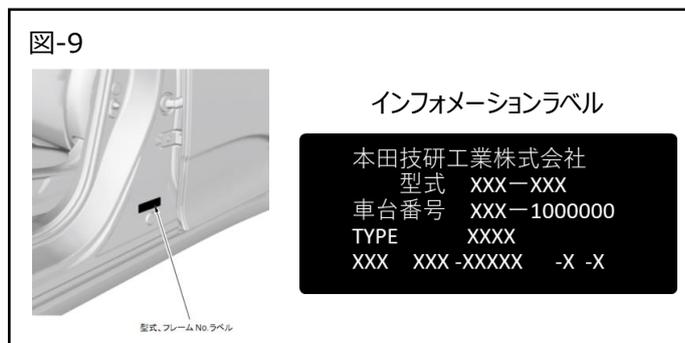
23. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

24. 整備主任者は下記項目を確認し、完成検査を行う。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

25. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-9参照



26. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

27. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順26.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。